

10/23
(金)

県北地方植樹祭を開催 木を守り育てる契機に

赤坂の里森林公園

ceremony

県北地方植樹祭は緑化の推進を目的に毎年開催しています。須田市長が「森林は水源かん養など重要な役割を果たしている。森林の大切さを自分事として認識しなければならない。」と挨拶しました。記念植樹として、



県北農林事務所いぬまたかひろ 飯沼隆宏所長ら出席者20人が、サルスベリ5本を植樹し、木の豊かな成長を願いました。

11/5
(木)

遠くに行っても元気でね 大石小学校ウサギお別れ会

大石小学校

ceremony

「レン、チャチャ、ビジン…」とさまざまな名前をつけ、可愛がってきた約50羽のウサギが、掛田小との統合を前に県外の牧場に引き取られました。6年の本田りみさんが「私たちの大切なウサギを大事に育ててく



ださい。」と飼育員に挨拶しました。児童が休日も学校に通い、世話してきたウサギたちは、新天地で大切に飼育されます。

11/16
(月)

規格外の桃使用でフードロス削減 桃のマドレーヌ「mofet」販売へ

伊達市役所

ceremony

昨年度、ふたば未来学園の生徒がレシピを考案、保原高校の生徒がパッケージをデザインした桃のスイーツが完成し、須田市長らが試食しました。市内のパティシエ赤間佑太さんがレシピを改良、保原高校美術部の



佐藤菜摘さんが名称とロゴをデザインしました。11月28日㊥から道の駅伊達の郷りょうぜんで数量限定で試験販売されます。

10/16
(金)

水害防止の取り組みに感謝 阿武隈川上流域フェア開催

道の駅伊達の郷りょうぜん

event

国や県、流域自治体が連携して取り組む「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」では、水害防止のため、須賀川市、矢吹町、鏡石町、玉川村の一带に新たな遊水地整備を進めています。フェアは同自治体



と交流・連携を深めるために実施したもので、同自治体の特産品のほか、プロジェクトを紹介するパネルが設置されました。

10/19
(月)

市民の健康増進に協力誓う 市と大塚製薬(株)が協定締結

伊達市役所

agreement

締結式で須田市長は「協定により、子育てと健康づくりを軸としたまちづくりが強化できる。」と謝辞を述べ、大塚製薬(株)の迫上智博仙台支店長は「市民の健康に貢献する活動に努めたい。」と述べました。協定



により、食やスポーツ、熱中症予防など健康に関する取り組みで、講師の派遣やイベントの協力をいただくこととなります。

10/22
(木)

農地利用最適化推進へ 伊達市農業委員会が意見書提出

伊達市役所

opinion

農業委員会の清野直人せいのなおと会長が須田市長に意見書を手渡し、耕作放棄地の発生防止や農業担い手の支援、防災減災など6つの項目において対策を求めました。須田市長は「地域を守る農業の役割は大きい。事業に反映さ



せたい。」と述べました。伊達市の農業が抱える問題点などについて、各委員からも報告があり、活発な意見が交わされました。